

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

☆組織改編・・・植物管理室は、2019年4月より統合生命科学研究科・附属宮島自然植物実験所の所属となりました。

植栽樹木調査

東広島植物園では、総合博物館と連携して6月より、キャンパス内の植栽樹木調査(約127種5545本)を開始しました。主に調査は、毎週金曜日に博物館職員、宮島実験所所属の学生と協力しながら行っています。



植栽調査は、これまでも何度か行われていたようですが、前回の調査から年数が経っているため、この度正確な情報を提供できるよう再調査を始めました。



フィールドで記録した情報は、GISを使って位置情報をパソコンに入力して管理し、教育・研究に利用できるようにデジタル自然史博物館で情報公開していく計画です。調査をしながら、標本を取ったり樹種を調べたりと植物の勉強になります。



樹木の胸高直径(地面から120cmの高さ)も測定し、今後の成長も経過観察していきます。

キャンパスのヤシャブシ

山中池周辺では、3種のヤシャブシを観察できます。

ヤシャブシの見分けるポイント

[ヤシャブシ類…カバノキ科ハンノキ属の落葉樹]

ヤシャブシ・・・葉に光沢がなく、果穂が1~3個つき直立または斜上する。
オオバヤシャブシ・・・葉に光沢があり、果穂が1個のみつき直立または斜上する。
ヒメヤシャブシ・・・葉が細長く基部がクサビ形で、果穂が3~6小つき下垂する。



ヤシャブシ



オオバヤシャブシ



ヒメヤシャブシ

オオバヤシャブシは、ヒメヤシャブシと同様に空中窒素の固定能力があり、治山や肥料木として用いられた。また、法面などの緑化にも使われた。

学部公開(11/7)



学生ボランティアも、終日協力してくれました。

ホームカミングデーの学部企画の一部として、東広島植物園の施設公開を行いました。今年はコロナ感染症の影響もありどうかと心配されましたが、総合博物館で企画紹介してもらったこともあり家族づれも多く来られ、樹木クイズなどで盛り上がりしました。



当日は雨天だったため、温室にてどんぐりストラップ作り、まつぼっくりツリー、しめ縄作りなどの体験企画を行いました。

栽培実習・秋コース



これから年末にかけて、引き続き野菜の収穫を行います。

今回の秋コースも、たくさんの学生さんに参加いただきました。みなさん熱心に取り組みました結果、野菜の生育もよく、楽しい収穫となりました。手をかければ、その分しっかり成果が実を結ぶということを実習で体験できたと思います。収穫した野菜は家族や友達と美味しく食べて下さい。



ひまわり保育園のサツマイモ掘り

園内の圃場での自然体験



11月6日にひまわり保育園の園児たちが、サツマイモ掘りを行いました。へにはるか、紅あずまの2品種のイモを掘りました。園児たちは、ミミズやイモ虫が出てくると、大騒ぎをしながら楽しく体験しました。



大きなイモに園児たちは大喜び

附属幼稚園の稲刈り

10月30日に附属幼稚園の年長組が稲刈りを行いました。秋の大雨などで倒伏した稲を起こし先生と協力しながら、鎌を使って上手に刈っていました。刈り取った稲は自分たちで植物園まで運んで、棚に掛けて天日干しにしました。



園内の果樹

イチジク *Ficus carica*



クワ科

アラビア南部原産で、6千年以上前から栽培されていた。イチジクは、隠頭花序と呼ばれる花をつけ、果実のように見える部分は花軸が肥大したものだ。

園内の果樹

キウイフルーツ *Actinidia chinensis*

var. *deliciosa*



マタタビ科

原産地は、中国の揚子江沿岸で、その後ニュージーランドで栽培されるようになった。落葉する性植物で、雌雄異株。日本の高冷地に自生するサルナシは同じ仲間。



[お問い合わせ先]

広島大学 統合生命科学研究科
東広島植物園

TEL:082-422-7111
(内線2842)

E-mail : tshioji@hiroshima-u.ac.jp